

平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月24日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター
 コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 定時株主総会開催予定日 平成27年6月18日
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(氏名) 梶並 伸博
 (氏名) 梶並 京子
 TEL 03-5337-6711
 有価証券報告書提出予定日 平成27年6月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期の業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	1,797	△16.2	△31	—	△20	—	△29	—
26年3月期	2,143	△13.6	△250	—	△242	—	△302	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年3月期	△2.16	—	△1.7	△1.0	△1.7
26年3月期	△21.95	—	△15.8	△10.7	△11.7

(参考) 持分法投資損益 27年3月期 一百万円 26年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期	2,059	1,741	84.4	125.97
26年3月期	2,091	1,771	84.6	128.15

(参考) 自己資本 27年3月期 1,739百万円 26年3月期 1,768百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	117	339	1	1,673
26年3月期	22	△86	0	1,211

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 平成28年3月期の配当予想額は、未定であります。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	350	△19.3	△65	—	△65	—	△66	—	△4.78

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けま
 す。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第1四半期か
 ら第3四半期までは各四半期毎(累計)の予想を開示しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

27年3月期	13,933,800 株	26年3月期	13,929,800 株
27年3月期	127,200 株	26年3月期	127,200 株
27年3月期	13,803,963 株	26年3月期	13,800,798 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成27年4月24日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社のホームページ(<http://ir.vector.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 財務諸表	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当事業年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）のわが国経済は、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が徐々に薄れつつあり、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調が継続しております。

当社の事業と密接に関係している情報通信機器については、パソコンの世帯普及率が8割前後で停滞している一方で、普及開始から数年の間でスマートフォン(高性能携帯電話)の世帯普及率が6割超、タブレットの世帯普及率が2割超と急速な広がりを見せております。

パソコン向けオンラインゲーム業界の成長率は鈍化しておりますが、スマートフォン・タブレット等を含めたゲーム市場は拡大基調が続いております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、平成26年4月にウィンドウズXPのサポートが終了したことによりパソコンの買い替えによる一定の需要はありましたが、スマートフォンやタブレット等の普及により先行きは厳しいものと予想されております。

このような環境のもと、オンラインゲーム事業につきましては、パソコン向けブラウザゲームを複数のゲームポータル先へ供給したことにより販路が拡大し、一定の営業収益を確保することはできましたが、前事業年度を下回る結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、ウィンドウズXPのサポート終了による一定の需要はあったものの、個人消費者向けパソコン市場の縮小に加え、平成26年4月の消費税増税後の販売低下が影響し、営業収益は前事業年度を下回る結果となりました。

営業費用につきましては、最適化・効率化により大幅に削減しており、営業損失の圧縮に寄与しております。

以上の結果、当事業年度の営業収益は17億97百万円（前事業年度比16.2%減）、営業損失は31百万円（前事業年度は2億50百万円の営業損失）、経常損失20百万円（前事業年度は2億42百万円の経常損失）となりました。

また、有価証券売却益等の特別利益15百万円、減損損失等の特別損失22百万円、法人税等の2百万円をそれぞれ計上し、当期純損失は29百万円（前事業年度は3億2百万円の当期純損失）となりました。

当事業年度のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	平成27年3月期		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	1,236,139	△18.7	68.8
ソフトウェア販売事業	458,315	△9.5	25.5
サイト広告販売事業	100,153	△14.3	5.6
その他	2,580	—	0.1
合計	1,797,189	△16.2	100.0

オンラインゲーム事業

当事業年度におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、12億36百万円（前事業年度比18.7%減）となりました。

従来型のオンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)は、前事業年度から継続している8タイトルから平成26年4月に「三国ヒーローズ」「ぎごしょくマスター」、5月に「Angelic Crest」、8月に「ARK FRONTIER」の計4タイトルのサービスを終了し、当事業年度末時点では4タイトルの運営となっております。

ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)は、前事業年度から継続している6タイトルから平成26年4月に「まじかるブラゲ学院」のサービスを終了しましたが、7月に「三国ベースボール」、11月に「ブレイドラッシュ」のサービスを開始したことにより、当事業年度末時点では7タイトルの運営となっております。

スマートフォンゲームは、平成26年6月に「ポケットヴァルキリー」のサービスを終了しましたが、平成26年8月に「だいすきナンプレ!」のサービスを開始いたしました。これにより、当事業年度末時点では2タイトル（「アルカナ・マギア」、「だいすきナンプレ!」）の運営となっております。

ソフトウェア販売事業

当事業年度におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、4億58百万円(前事業年度比9.5%減)となりました。

ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウィンドウズXPのサポート終了により、パソコンの買い替えが進み、ウイルス対策ソフト等の販売が一時的に増加いたしました。個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の減少傾向は継続しております。

サイト広告販売事業

当事業年度におけるサイト広告販売事業の販売金額は、1億円(前事業年度比14.3%減)となりました。

キーワード広告(リスティング広告)については当該事業の約8割強を占め、サイト広告販売事業の基幹となっております。

その他

前事業年度のその他の販売金額はありませんでしたが、当事業年度のその他の販売金額は、2百万円となりました。

なお、その他には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの販売金額が含まれております。

(次期の見通し)

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第1四半期から第3四半期までは各四半期毎(累計)の予想を開示し、次期(通期)の業績予想及び配当予想は開示しておりません。

投資家の皆様の投資判断に資する情報は、実績を分析した上で適時提供することに努めてまいります。

(2) 財政状態に関する分析

① 財政状況の変動状況

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ31百万円減少して20億59百万円となりました。また、当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ1百万円減少して3億18百万円となり、純資産合計は前事業年度末に比べ29百万円減少して17億41百万円となりました。

(資産)

当事業年度における流動資産増加の主な要因は、前事業年度末より売掛金が26百万円、有価証券が3億99百万円減少したものの、現金及び預金が4億62百万円増加したこと等によるものです。

当事業年度における固定資産減少の主な要因は、減価償却、除却及び減損損失等の計上により、前事業年度末より有形固定資産が10百万円、無形固定資産が20百万円及び投資その他の資産が19百万円減少したことによるものです。

(負債)

当事業年度における負債減少の主な要因は、前事業年度末より固定負債が2百万円増加しましたが、流動負債が4百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当事業年度における純資産減少の主な要因は、当期純損失29百万円の計上によるものです。

なお、当事業年度末における負債合計の負債純資産合計に占める割合は、前事業年度末の15.3%から15.5%に上昇し、自己資本比率は、前事業年度末の84.6%から84.4%に低下しました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高の12億11百万円から4億62百万円増加し、16億73百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純損失27百万円、減価償却費1億6百万円の計上などにより、1億17百万円の収入（前事業年度は22百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による93百万円の支出はありましたが、有価証券の売却による4億円の収入及び投資有価証券の売却による21百万円の収入等により、3億39百万円の収入（前事業年度は86百万円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支は、4億57百万円の黒字（収入超過）となり、現金及び現金同等物残高の増加要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使に伴う株式の発行により、1百万円の収入となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
自己資本比率(%)	79.5	79.3	84.1	84.6	84.4
時価ベースの自己資本比率(%)	334.9	169.3	317.1	338.6	446.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

インターネット通信環境の改善とともに、インターネットでモノやサービスをやりとりする幅広いビジネスの展開が可能になってまいりました。当社は、インターネットのもつ利便性、可能性、社会性を常に認識しており、利用者へのサービス提供の多様化を図ることを念頭に置き、ビジネスモデルのリニューアルに努めてまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社は、経営指標として株主資本当期純利益率（ROE）10%台の堅持を目標にして、経営成績の向上、経営効率の改善に取り組み、株主価値の極大化に努めてまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、平成元年の創業時はCD-ROM付き書籍の出版事業でスタートし、平成7年にパソコンソフトのオンライン流通事業に進出しました。その後、平成18年にオンラインゲーム事業に進出しました。これを「第三の創業」と位置付けると共に中長期的観点からオンラインゲーム事業を経営の柱として育てていく方針であります。

(4) 会社の対処すべき課題

当社はインターネットを通じて多くの人々の生活が「より便利に、より楽しく」なるサービスを創造することをモットーに経営を展開しております。

当社は従来、パソコンソフトのダウンロード販売を中心としたインターネット販売事業を手がけてまいりましたが、現在は最重要戦略事業として、オンラインゲーム事業を経営の新たな柱と位置付け積極的な事業展開を行っております。このため、昨今のスマートフォンの急速な普及を視野に入れながら、オリジナルタイトル中心に戦略をシフトし、さらなる飛躍を目指すことといたしますが、なによりも魅力的な新規タイトルを積極的に投入することが業績向上を図るうえで、喫緊の課題であると認識しております。

当社では、インターネットビジネスが当社のコアコンピタンスであるとの認識のもと、ヒト、モノ、カネ、情報などからなるすべての経営資源を最大限に活用して収益機会の多様化を図り、企業価値の向上を通じて、株主の皆様の期待に応えるべく努力してまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、国内でのIFRSの採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針です。

4. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,825	1,642,863
売掛金	234,141	207,394
有価証券	430,356	30,371
前払費用	21,576	19,222
その他	41,908	28,400
流動資産合計	1,908,808	1,928,253
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,940	8,940
減価償却累計額	△6,524	△6,907
建物(純額)	2,415	2,033
車両運搬具	2,826	2,826
減価償却累計額	△2,684	△2,713
車両運搬具(純額)	141	113
工具、器具及び備品	184,409	147,990
減価償却累計額及び減損損失累計額	△164,483	△138,577
工具、器具及び備品(純額)	19,925	9,412
有形固定資産合計	22,482	11,559
無形固定資産		
ソフトウェア	91,097	49,619
その他	8,925	30,125
無形固定資産合計	100,023	79,745
投資その他の資産		
投資有価証券	17,509	9,523
長期前払費用	837	639
敷金	41,589	30,139
投資その他の資産合計	59,936	40,301
固定資産合計	182,442	131,606
資産合計	2,091,250	2,059,859

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,474	96,133
未払金	56,234	66,237
未払費用	16,065	11,491
未払法人税等	5,438	5,803
前受金	20,748	14,971
預り金	48,542	37,513
賞与引当金	26,928	26,174
その他	5,172	29,897
流動負債合計	292,603	288,222
固定負債		
退職給付引当金	24,772	27,857
繰延税金負債	2,692	2,380
固定負債合計	27,464	30,238
負債合計	320,067	318,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,726	1,007,526
資本剰余金		
資本準備金	345,724	346,524
その他資本剰余金	1,050,000	1,050,000
資本剰余金合計	1,395,724	1,396,524
利益剰余金		
利益準備金	750	750
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△545,785	△575,569
利益剰余金合計	△545,035	△574,819
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	1,762,462	1,734,279
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,273	4,981
評価・換算差額等合計	6,273	4,981
新株予約権	2,446	2,136
純資産合計	1,771,182	1,741,397
負債純資産合計	2,091,250	2,059,859

(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業収益		
売上高	2,143,472	1,797,189
営業収益合計	2,143,472	1,797,189
営業費用		
ソフトウェア販売原価	355,014	321,754
オンラインゲームロイヤリティ	399,595	295,954
支払手数料	280,991	313,257
広告宣伝費	270,225	82,692
給料手当及び賞与	448,355	378,950
賞与引当金繰入額	24,596	24,735
通信費	96,887	74,660
減価償却費	257,484	106,450
その他	261,135	229,810
営業費用合計	2,394,288	1,828,265
営業損失(△)	△250,815	△31,075
営業外収益		
受取利息	6	5
有価証券利息	5,070	1,751
受取配当金	76	85
為替差益	786	5,561
受取手数料	1,013	808
営業外決済金	-	2,643
その他	1,601	228
営業外収益合計	8,555	11,085
営業外費用		
株式交付費	60	120
コンテンツ開発解約損	-	345
その他	-	9
営業外費用合計	60	474
経常損失(△)	△242,320	△20,465
特別利益		
固定資産売却益	-	345
投資有価証券売却益	23,280	15,484
特別利益合計	23,280	15,829
特別損失		
固定資産売却損	701	-
固定資産除却損	24,639	2,021
減損損失	40,759	20,835
特別損失合計	66,100	22,857
税引前当期純損失(△)	△285,140	△27,493
法人税、住民税及び事業税	2,290	2,290
法人税等調整額	15,429	-
法人税等合計	17,719	2,290
当期純損失(△)	△302,860	△29,783

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,006,246	345,244	1,050,000	1,395,244	750	△242,925	△242,175
当期変動額							
新株の発行(新株予 約権の行使)	479	479	—	479	—	—	—
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	△302,860	△302,860
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	479	479	—	479	—	△302,860	△302,860
当期末残高	1,006,726	345,724	1,050,000	1,395,724	750	△545,785	△545,035

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△94,952	2,064,364	3,959	3,959	2,451	2,070,775
当期変動額						
新株の発行(新株予 約権の行使)	—	958	—	—	—	958
当期純損失(△)	—	△302,860	—	—	—	△302,860
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	2,313	2,313	△4	2,308
当期変動額合計	—	△301,901	2,313	2,313	△4	△299,592
当期末残高	△94,952	1,762,462	6,273	6,273	2,446	1,771,182

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,006,726	345,724	1,050,000	1,395,724	750	△545,785	△545,035
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	800	800	—	800	—	—	—
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	△29,783	△29,783
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	800	800	—	800	—	△29,783	△29,783
当期末残高	1,007,526	346,524	1,050,000	1,396,524	750	△575,569	△544,819

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△94,952	1,762,462	6,273	6,273	2,446	1,771,182
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	—	1,600	—	—	—	1,600
当期純損失(△)	—	△29,783	—	—	—	△29,783
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	△1,292	△1,292	△309	△1,602
当期変動額合計	—	△28,182	△1,292	△1,292	△309	△29,784
当期末残高	△94,952	1,734,279	4,981	4,981	2,136	1,741,397

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△285,140	△27,493
減価償却費	257,484	106,450
減損損失	40,759	20,835
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,766	3,085
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,598	△753
受取利息及び受取配当金	△5,154	△1,842
固定資産除却損	24,639	2,021
固定資産売却損益(△は益)	701	△345
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,280	△15,484
為替差損益(△は益)	△565	△3,429
売上債権の増減額(△は増加)	50,623	33,120
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,161	△17,341
預り金の増減額(△は減少)	△15,697	△11,028
未払又は未収消費税等の増減額	26,825	24,834
その他	△35,003	4,265
小計	20,198	116,894
利息及び配当金の受取額	4,907	2,838
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,379	△1,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,726	117,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△400,000	-
有価証券の売却による収入	400,000	400,000
投資有価証券の売却による収入	42,693	21,866
無形固定資産の取得による支出	△151,669	△93,117
長期前払費用の取得による支出	△334	-
敷金の回収による収入	22,610	10,712
その他	18	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,682	339,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△27	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	734	1,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	707	1,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	565	3,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△62,684	462,053
現金及び現金同等物の期首残高	1,273,866	1,211,182
現金及び現金同等物の期末残高	1,211,182	1,673,235

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に事業別の部署を置き、各部署は取扱う事業サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、オンラインゲーム事業、ソフトウェア販売事業、サイト広告販売事業の3つを報告セグメントとしております。

なお、オンラインゲーム事業は、オンラインゲームの企画・運営・配信業務を行っております。ソフトウェア販売事業は、ソフトダウンロード販売（プロレジ・サービス、シェアレジ・サービス）、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務などを行っております。サイト広告販売事業は、Web広告販売、メール広告販売業務などを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の内部売上高及び振替高はありません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウエ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,520,444	506,161	116,866	2,143,472	—	2,143,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,520,444	506,161	116,866	2,143,472	—	2,143,472
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△224,220	△20,113	76,163	△168,169	—	△168,169
セグメント資産	345,586	46,840	17,087	409,514	—	409,514
その他の項目						
減価償却費	254,018	2,555	635	257,209	—	257,209
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	142,819	—	—	142,819	—	142,819

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウエ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,236,139	458,315	100,153	1,794,609	2,580	1,797,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,236,139	458,315	100,153	1,794,609	2,580	1,797,189
セグメント利益又は セグメント損失(△)	23,873	△8,195	64,079	79,758	△10,224	69,533
セグメント資産	265,524	52,248	11,514	329,287	7,184	336,472
その他の項目						
減価償却費	98,425	1,504	397	100,328	3,508	103,836
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	88,292	—	—	88,292	3,819	92,112

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	2,143,472	1,794,609
「その他」の区分の売上高	—	2,580
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	2,143,472	1,797,189

(単位:千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	△168,169	79,758
「その他」の区分の損失(△)	—	△10,224
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△82,645	△100,609
財務諸表の営業損失(△)	△250,815	△31,075

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	409,514	329,287
「その他」の区分の資産	—	7,184
全社資産(注)	1,681,735	1,723,386
その他の調整額	—	—
財務諸表の資産合計	2,091,250	2,059,859

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余裕運用資金(現金及び預金等)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	257,209	100,328	—	3,508	274	2,614	257,484	106,450
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	142,819	88,292	—	3,819	8,596	6,017	151,416	98,130

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る設備投資額であります。

【関連情報】

前事業年度(平成26年3月31日)及び当事業年度(平成27年3月31日)

1. サービスごとの情報

セグメント情報の中に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計			
減損損失	40,759	—	—	40,759	—	—	40,759

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計			
減損損失	20,835	—	—	20,835	—	—	20,835

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり純資産額	128.15円	125.97円
1株当たり当期純損失金額	△21.95円	△2.16円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
当期純損失(千円)	△302,860	△29,783
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(千円)	△302,860	△29,783
普通株式の期中平均株式数(株)	13,800,798	13,803,963

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,771,182	1,741,397
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	2,446	2,136
(うち、新株予約権(千円))	(2,446)	(2,136)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,768,735	1,739,261
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	13,802,600	13,806,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。